

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 5 日 (2009.11.5)

【公開番号】特開 2008-224022 (P2008-224022A)

【公開日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報 2008-038

【出願番号】特願 2007-117724 (P2007-117724)

【国際特許分類】

F 1 6 D 3/26 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 3/26 W

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 12 日 (2009.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力軸 (10) に内ピン (8)、(11) を設けて内ピンに回転自由に入力側リング (7) を設け、入力側リング (7) に内ピン (8)、(11) の位置と 90 度角の位置に外ピン (9)、(28) を設け外ピンをスライド回転外 (4) に回転自由に嵌め、スライド回転外 (4) の内側にひっかかりを設け、スライド回転内 (1) の外側にもひっかかりを設けてスライド回転外 (4) とスライド回転内 (1) がスライド可のひっかかりとし、スライド回転内と出力側リング (17) を外ピン (24)、(27) を介して回転自由に支持し、出力側リング (17) に外ピンの位置より 90 度角度を設けた所に内ピン (18)、(22) と回転自由に設けて内ピンと出力軸を固着し、入力軸 (10) と入力十字支持 (2) 及び出力軸 (21) と出力十字支持 (12) を回転自由に結合した事を特徴とした 70 度角自在継手。

【請求項 2】

入力軸 (10) から内ピンを介して入力側リング (7)、それから外ピンを介してスライド回転外 (4) そしてスライド回転内 (1) そして外ピンを介して出力側リング (17) そして内ピンを介して出力軸と回転力を伝える手段と入力軸の芯と出力軸の芯の交差点が移動しない手段と 2 つの手段を組み合わせた事を特徴とした請求項 1 記載の 70 度角自在継手。

【請求項 3】

入力軸 (10) に係合する入力側リング (7) を介して係合するスライド回転内 (1) 又はスライド回転外 (4) のどちらか一方と、出力軸 (21) に設ける出力側リングを介して係合するスライド回転内 (1) 又はスライド回転外 (4) のどちらか他方と伝動手段を介して伸縮可で回転を伝える事を特徴とした 70 度角自在継手。